

科目免除で税理士へ

税理士 × MBA

会社を支える、経営者視点の税理士へ



事業創造大学院大学  
Graduate Institute for Entrepreneurial Studies

# 働きながら税理士資格取得へ。

## 「科目免除」という選択肢で

## “企業の将来ビジョン”を経営者と共に描ける「税理士×MBA」を目指す

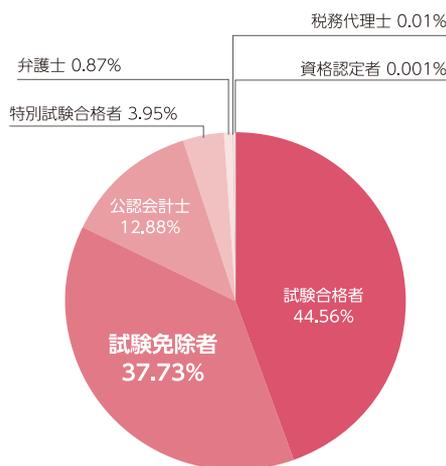


昨今、税理士業界の現場では、企業のクライアントから様々な分野・領域での専門的なアドバイスやコンサルティングが求められています。税理士業務は、単なる財務や税務に関する過去の業績等を数値化するだけではありません。「設立」・「株式公開」・「再生」といった企業の成長過程において、蓄積されたデータをもとに企業の成長・発展を支えるためのアドバイスや、幅広く経営全般にわたる具体的な経営コンサルティングが期待されています。また、税理士を取り巻く環境は年々複雑化・多様化し、税理士に期待されるサービスや仕事の領域は、より高度になり、専門化してきています。

事業創造大学院大学では、このようにクライアントの多様なニーズに応えるために経営者目線に立ち「企業の将来ビジョン」を共に描ける税理士を輩出するべく、「科目免除」という選択肢で税理士資格取得を目指します。本学修了時には、経営学の修士号である経営管理修士(専門職)MBAの学位が授与されるため、試験合格では得られない専門性、独立・起業ノウハウが養われます。またビジネススクールならではの多様な人材との異業種交流・ネットワークの構築が可能です。

## 「科目免除」税理士は過去20年で2.5倍増 「試験合格」税理士は全体の半分以下

毎年実施される国税庁 統計情報 税務統計20-7税理士(2019年度)によると「税理士登録者数」は「試験合格」が最も多かったものの、税理士登録者数の半分以下44.56%であることがわかりました。続いて多かったのが「試験免除」37.73%と、当該統計によれば前回(2018年度)の36.94%、前々回(2017年度)36.14%と年々増加しています。試験免除により税理士登録した方の割合は毎年増加し、試験免除により税理士登録した方の割合は過去20年において2.5倍増加しています。事業創造大学院大学では、科目免除制度を活用し、1年でも早く効率的に税理士資格を取得し税理士になることを奨励しています。



税理士登録者数 出典:国税庁 統計情報(2019年度)

(参考)用語の説明 ※国税庁 令和元年度 税務統計20-7税理士より一部抜粋  
「試験合格」とは、税理士試験の試験科目の最終科目が試験合格による者をいう。  
「試験免除」とは、税理士試験の試験科目が免除による者をいう。

## 税理士試験科目 一部免除申請までのプロセス

本学では税理士を目指されている方を主たる対象として、「税法演習」および「会計演習」を開設しています。「税法演習」では税法に関する論文の作成指導、「会計演習」では会計学に関する論文の作成指導を行います。尚、所定の科目のほか、「税法演習」と「会計演習」のいずれかを履修し、修士論文を作成して本学を修了すると、「税法演習」履修の場合は税理士試験の「税法科目2科目の免除」を、また、「会計演習」履修の場合は税理士試験の「会計学科目1科目の免除」を申請することが可能となります。(修了後、国税審議会に申請し、認定を受けることにより、受験が免除されます。)

※本学を修了後、国税審議会への研究認定(科目免除)申請をするためには、各申請プロセスにおいて、それぞれ税法科目いずれか1科目、会計科目いずれか1科目に合格している必要があります。  
※本学において、税法2科目免除申請、会計1科目免除申請のために同時に「税法演習」、「会計演習」の両方を履修することはできません。



# 事業創造大学院大学の特長

## 1 起業、事業承継に不可欠なアントレプレナーシップを養成

独立し起業家としてビジネスを新規にスタートさせ成長させるためにも、組織内で事業を承継し、後継経営者となるためにも、自ら起業に取り組むことができる資質や組織内で新しい事業を創出することができる資質(アントレプレナーシップ=起業家精神)が必要不可欠です。本学では起業や事業承継を実現し、かつその事業を発展させるにふさわしい高い能力・識見と専門性を備えた、事業創造実践家の育成を目指します。

## 2 科目免除申請の認定に必要な修士論文は演習で認定可能なレベルまできめ細やかに指導

本学では2年間を通じて担当教員によりゼミ形式によるきめ細かな演習指導が行われます。入学後の半年間はプレミナールが開始し、修士論文の設定テーマを明確にします。1年次後半の演習Iでは、修士論文の執筆活動が本格化し、2年次は1年を通して演習IIを行い、国税審議会への申請認定が可能なレベルの修士論文を仕上げていきます。



駒宮 史博 教授  
担当科目/ 税法演習I・II



鈴木 悠哉 准教授  
担当科目/ 税法I 税法II  
税法演習I・II



金 紅花 講師  
担当科目/ 管理会計論  
財務諸表分析  
会計演習I・II

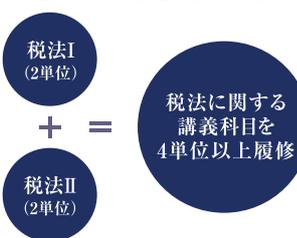
## 3 多様な人材との異業種交流・人的ネットワークの構築

科目免除による税理士資格取得だけでなく、多様なバックグラウンドを有する学生との交流は、学内外で情報交換や経験の共有化が図れるため大きな財産となります。本学は海外からの優秀な外国人学生を積極的に受け入れていますので、グローバルな視点からビジネスを捉えるよいチャンスにもなり、日常では得られない人脈形成が期待できます。国籍、年齢、業種を問わず、多様な人材が集い、起業や事業承継等を志しています。

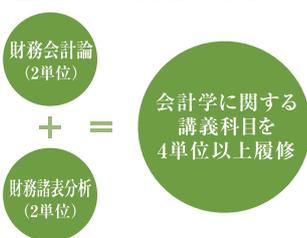
## 4 科目免除申請の認定に必要なMBA科目の配置

税理士試験の科目免除申請を行うためには、一定単位以上の講義科目の履修が欠かせません。「税法」に属する試験科目2科目の免除申請を行うためには「税法」に関する講義科目を4単位以上、「会計学」に属する試験科目1科目の免除申請を行うためには「会計学」に関する講義科目を4単位以上履修することが必要です。本学では講義1科目履修につき2単位付与され、「税法」に関する科目を3科目、「会計学」に関する科目を2科目開講していますので、科目免除の申請の認定に必要な単位数を修得することが可能です。

〈税法2科目免除を申請する場合〉



〈会計学1科目免除を申請する場合〉



### 税理士資格プラス事業経営が学べるMBAカリキュラム

| 分野   | 科目名          |                 |              |
|------|--------------|-----------------|--------------|
| 基礎科目 | 経営学概論        | 組織マネジメント/組織行動論  | ビジネスプラン作成法※1 |
|      | 経営戦略         | 人的資源管理/リーダーシップ論 | アントレプレナーシップ論 |
|      | マーケティング      | 技術経営論           | 統計分析         |
|      | 財務会計論        | IT基礎技術          | 管理会計論        |
|      | 財務諸表分析       | サプライチェーンマネジメント  |              |
|      | コーポレートファイナンス | 企業倫理            |              |

| 分野            | 科目名             |               |                |
|---------------|-----------------|---------------|----------------|
| 発展科目          | 経営戦略分野          | 経営戦略特論        | グローバル・マーケティング  |
|               |                 | 中小企業成長戦略      | マネジメントサイエンス※2  |
|               |                 | サービスマネジメント    | 市場調査法          |
|               |                 | 事業戦略ケーススタディ※2 | ビジネスモデルイノベーション |
|               | 財務・金融分野         | リスクマネジメント     | 税法II           |
|               | 税法I             | 税法特論          |                |
| 情報・技術分野       | ITソリューション       | AIと応用         |                |
|               | ICT技術戦略         |               |                |
| アントレプレナーシップ分野 | アントレプレナー・ファイナンス | ベンチャー企業研究     |                |
|               | コーポレートベンチャー論    | 中小企業と事業承継     |                |
| 事業環境分野        | 国際経済と経営環境       | 観光ビジネス特論      |                |
|               | 企業法務            | 福祉ビジネス特論      |                |
|               | 地域経済産業論         | スポーツビジネス特論    |                |
|               | 地域フィールドスタディ     | 新興国市場と地域企業    |                |

| 分野 | 科目名     |                                   |
|----|---------|-----------------------------------|
| 演習 | 演習I※1   | ※1 1年次のうちに履修すること                  |
|    | 演習II※2  | ※2 本年度の開講は未定                      |
|    | 演習III※3 | ※3 「演習II」の単位を修得済みであることが履修条件となります。 |

## 5 働く社会人が学びやすい学習環境

本学の日本人学生の多くは、様々な業種や職種の第一線で働きながら通学しています。

- 昼間は仕事に集中、夜間に大学院へ通学  
週3~4回程度の通学を目安に、業務の都合に合わせて計画的に履修することができます。
- 欠席した講義は動画で視聴可能  
業務の都合でやむなく欠席した場合や復習などのために、講義を動画で視聴することができます。
- 駅から近く通学至便な環境  
新潟駅の南口を出て徒歩7分にキャンパスがあるため、仕事帰りに通学しやすい環境です。

- 長期履修生制度の利用  
標準修業年限である2年間での履修に困難な事情がある場合、3年または4年に延長することができます。
- 専門実践教育訓練給付金制度の活用  
一定の条件を満たす方は、本学に支払った学費の一部(最大112万円)を給付金として受け取ることができます。

# 本学で学ぶ在学生 ～税理士×MBA×起業・事業創造を目指して～



川鍋正樹税理士事務所  
川鍋 貴俊さん  
2021年4月入学



玉井 晶子さん  
2020年4月入学

## 事業承継、税理士を目指す後押しに

経営、事業承継、税理士試験科目免除について、自分が求めている学びが多くあると感じ入学を決めました。他業種から転職をし、父の税理士事務所へ入り資格取得を目指していますが、自分の目的に合った学びの場を探していたところ、今までの経営についての経験を基礎から学び直せること、税理士に向けた試験科目免除の制度を活用できること、様々な業種の方と話す機会が持てることの点が決め手となりました。

実務につながる税法の知識、経営の知識やさらに具体的なビジネスプランなど幅広く学ぶことが出来るのが大きな利点です。また、皆さんの書かれている学びの内容とは少し違いますが、私は社会人になってからは地元を長く離れていたこともあり、新潟のビジネス環境をあまり知りませんでした。同期には新潟企業の方も多くその話の中から新潟の今を知る貴重な場にもなりました。

まずは税理士資格取得が目標ですが、今後は現在の顧問先や今まで関わりのあった業界はもちろん、本学での学びをもとにこれから事業を考えている方へ税務だけではなく経営全般を支えられる取り組みを行っていきたいと思います。そのために税務、財務の知識を持ち、企業ごとの強みや得意分野をより磨ける提案をできるような税理士事務所を目指していきます。

私は大学卒ではなかったため、税理士に興味を持ちつつも、資格取得へのハードルの高さからなかなか踏み出せずにいました。独学での難しさを感じる中で、本学の資料や説明会を受け、事務の方の後押しもあり入学し、税理士試験科目免除制度を活用しての税理士を目指すという道筋が見えました。私のように税理士だけではなく、起業に興味を持ちつつ踏み出せずに迷っている方も多いと思いますが、まずはオンラインでのオープンキャンパスや説明会に参加してみる一歩をすぐに踏み出してみることを強くオススメします。

## 大学院での苦労は、必ず結果となる ～試験で得られない力を大学院で得る～

前職は会計事務所の方が使うソフトウェア会社に勤務しており、会計や税務は比較的身近にありました。その中で87歳の税理士の方と一緒に仕事をする機会があり、顧問先のことを考え一生懸命仕事をされている姿に感化されました。生涯ずっとできる仕事というものを考え始め、今の仕事にやりがいを感じつつも、自分の力で答えを出して人を助ける仕事をやりたいと思い、大学院に行くのはどうだろうと思ったのが入学のきっかけです。

本学は背景の異なる学生、先生がいるのでとても勉強になります。大学院なので「あなたはどう思うの?」ということが大事になります。意見やその理由を自分の言葉で説明することが重要であり、正解不正解は問われません。特に税法に関して自分の意見を述べることは難しいですが、先生や他の学生さんは優しく聞いてくれ、率直な意見を言ってくれるので、学ぶにはとても良い環境だと思います。

この先1年の目標は修士論文を書き上げること、3年で税理士試験に合格し、5年でクライアントに信頼される税理士になることです。あと1年でどこまでやれるのか、自分でもドキドキで楽しみでもあります。税理士は専門職でありながらサービス業なので、論文執筆や講義を通して、自分の言葉で相手を納得させる力をつけ、クライアントからの信頼を得たいと思います。

本学は大人になっても「分からない…」と堂々といえる貴重な環境です。「分からない」ということは道を歩んでいることになり、道を歩く手助けをしてくれる人がこの大学院にはたくさんいます。税務に関して知識ゼロの私でも指導を受け、色々と失敗しながらもなんとかやっております。大変なことも多いですが、得ることの方が多いです。ただし時間と気力の創出は必要ですので、一緒に頑張りましょう!

### 科目免除申請実績 (国税審議会の認定)

※開学～2021年4月現在



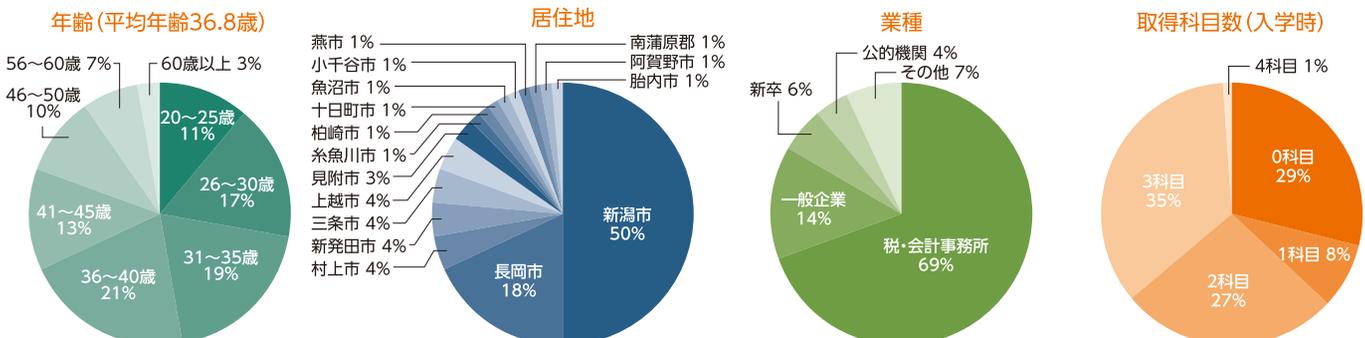
### 大学院入学後に向上した能力

※在学生アンケートより



### 税理士科目免除申請対象者データ

※開学～2021年4月現在





佐藤徹税理士事務所  
代表  
佐藤 徹さん  
2016年3月本学修了

2016年12月独立開業

## 「税理士業務× 経営助言=当事務所」 を目指して

本学の特色としてMBAを取得できるということがあります。実は、私はMBAとは何かも知らずに入学したのですが、名刺に記載していたら、お客様から「これは差別化ポイントだね」と言われました。確かに「税理士+MBA」は少ないと思いますので、この点でも本学で学ぶ意義は大いにあると思います。入学以前は、お客様である関与先の経営状態は、数値だけで見がちでした。今ではその背後にあるマーケティングの観点も絡めて、関与先とより深まった話ができるようになりました。

このように結果である会計数値だけではなく、その背後にある経営活動を多角的な面から関与先から話を聞き、あるいはアドバイスできるようになったことは、本学で学んだ大きな成果の一つです。

将来的には、「税理士業務×経営助言=当事務所」と認知されるくらいになりたいのですが、そのために、従業員の本学への入学や本学修了生の採用も考えています。私自身も論文作成の関係で受講できなかった授業が沢山ありましたので、今後は聴講生という形になりますが、学び続けて行きたいと思います。



税理士法人  
山田&パートナーズ  
横井 一泳さん  
2019年3月修了

## 広い視点で 「経営」を見ることのできる 税理士へ

私は、働きながら税理士を目指す多くの皆さんと同じように、会計事務所に勤務しながら税理士試験に向けて試験勉強を続ける日々を送っていました。毎日の業務に追われ、思うように進まない試験勉強に不安を感じ、効率的な資格取得の方法を模索すると同時に、毎日の業務の中で生まれる疑問に対し、基礎から税法を学び、より専門知識を付けたいという知欲が高まっていました。そんな中、税法演習履修により税理士試験の一部科目免除申請

を行うことができるという本学を知り、興味を持ちました。しかし、私の最終学歴は大学卒ではありません。税理士を目指し、学びたい意思を持ちながらも入学を諦めかけていました。入学できる可能性があるかもしれない、と参加した学校説明会で、事務局の方や指導教員に背中を押していただき、資格審査を経て入学に至りました。

本学での二年間は、独学で行う試験勉強では得ることのできない貴重な経験ばかりでした。同じ目標に向かう仲間から刺激を受け、税法への理解を深めることができ、学ぶことの幸せを感じた二年間でした。

現在は在学中に学んだ税法の基本を軸に、経営に関する講義で学んだ広い視点で「経営」を見る力を活かし、クライアントと地域への貢献を目指して業務に励んでいます。

私のように入学をためらっている方にも、本学には税理士への扉を開くチャンスがあるということを知って頂きたいと思います。



株式会社マルタケ  
取締役経理部長  
マルタケビル株式会社  
取締役財務担当

関東信越税理士会  
税理士登録  
(2017年10月26日)

居城 洋さん  
2017年3月本学修了

## 「税理士×MBA」 という差別化できる スキル

私の夢は財務、税務のプロフェッショナルになることでした。そのために税理士資格の取得を志しました。しかし、ある時期から、新たに新規事業、経営業務、管理業務等、複数の業務に携わることとなり、様々な学びが必要な状況になりました。自分はどこを目指していけばよいのか。そんな葛藤を抱えるなか、私は本学に出会いました。税理士となり財務、税務のプロフェッショナルになる夢が叶うこと、MBA分野の知識習得により新しい事業・業務に備えることができること、「税理士×MBA」という差別化できるスキルを身に付けることができること、この3つが本学への入学の決め手でした。

これを見ている方々の中には入学を迷っている方も多くいらっしゃると思います。そんなときは、自分の夢、人生の目標をまっすぐ見つめてみて下さい。それを叶えるための2年間で本学には必ずあります。たった一度の人生です。悔いなく、自分に正直に、完全燃焼して欲しいと思います。



パートナーズプロジェクト  
税理士法人  
シニアリーダー・創業と  
事業承継の相談センター  
相談員

目黒 大樹さん  
2021年3月修了

## 経営者とともに歩む 税理士を目指して

私は税理士試験に3科目合格した段階で、資格取得の最短ルートは科目免除制度の利用であると考え、本学への入学を決意しました。

税理士は税務の専門家であることはもちろんですが、顧客である経営者からは、税務に限らず幅広い分野の相談相手としての役割を期待されています。本学は税法だけでなく、経営・起業・事業創造に関する幅広い知識を習得することが求められますが、これらは将来税理士として経営者を支援していくためには必要不可欠なものです。周囲には税理士を目指す同輩、起業・事業創造を志す留学生を含む多くの学生が在籍し、彼ら彼女らと共に学び、議論を交わし、切磋琢磨すること自体が貴重な機会であり、自らを高めるために恵まれた環境であると思います。

現在は国税審議会による審査結果を待つ状態ではありますが、将来は税理士として、本学で身に付けた税務と経営に関する知識を活用し、地域の経営者・後継者の頼れるパートナーでありたいと考えています。特に、本学で共に学んだような起業・事業創造を志す人々や事業承継者を支援し、地元中小企業の発展に寄与していきたいです。

# 税理士試験科目免除申請

## 2021年10月入学・2022年4月入学 入学生募集

税理士試験の科目免除申請による税理士資格取得と  
経営管理修士(専門職)MBA学位が取得できる社会人のためのビジネススクールです。

### 大学院概要

|          |  |
|----------|--|
| 大学院名称    | 事業創造大学院大学 Graduate Institute for Entrepreneurial Studies |
| 研究科・専攻名称 | 事業創造研究科 事業創造専攻   |
| 課程       | 専門職学位課程  |
| 授与学位     | 経営管理修士(専門職) MBA(Master of Business Administration)       |
| 所在地      | 〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山3-1-46                              |
| 入学時期     | 春学期(4月)、秋学期(10月)   |
| 標準修業年限   | 2年(4年以内の長期履修生制度あり)                                       |
| 募集定員     | 80名(収容定員160名)  |
| 開講形態     | 平日(昼・夜間)及び一部の土曜日(昼間)に授業を開講                               |



### 入学対象

- ◆税理士として独立・起業を志す方
- ◆税理士法人・事務所の後継者として事業承継を担う方
- ◆企業内税理士として活躍したい方

## 税理士試験科目免除申請説明会

入学希望者  
参加必須

参加無料  
要予約

税理士試験の一部科目免除申請による税理士資格取得をお考えの方は「税理士試験科目免除申請説明会」にご参加ください。科目免除申請制度や、本学の演習指導概要、志望理由書作成上の注意点など本紙ではお伝えできない内容を指導担当教員および入試担当職員が説明致します。

※大学院入学を検討される方は必ず説明会にご参加ください。(説明会に参加されない方は本学への受験ができない場合がございます。)

#### 開催日

2021  
**8/28(土)・10/30(土)・12/18(土)**

2022  
**1/22(土)・2/19(土)**

#### 説明会プログラム

10:10～ 受付開始  
10:30～11:00 大学院概要説明  
11:00～12:00 税理士試験科目免除申請概要、演習指導概要  
12:00～12:30 入学試験説明、志望理由書作成上の注意点など  
12:30～ 個別相談、施設見学(※希望者のみ)

#### 会場

事業創造大学院大学  
新潟県新潟市中央区米山3-1-46  
(JR新潟駅から徒歩7分)

#### 申込方法

本学HP、E-Mail、お電話からお申し込みください。  
お申し込みの際は「氏名」「住所」「連絡先」  
「説明会をしたキッカケ」の4点をお知らせ願います。  
※右記QRコードからもお申込みいただけます。



## 入学試験

会計学に属する科目免除申請希望者は、2021年10月入学および2022年4月入学が可能です。

税法に属する科目免除申請希望者は、2022年4月入学のみ可能です。

※詳細は、本学開催の税理士試験科目免除申請説明会にて説明致します。

詳しい大学院情報をご希望の方は、下記までお問合せください。大学院のパンフレット及び募集要項等を無料で送付致します。



**事業創造大学院大学**  
Graduate Institute for Entrepreneurial Studies

〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山3-1-46  
TEL:025-255-1250 FAX:025-255-1251  
E-mail:info@jigyo.ac.jp <https://www.jigyo.ac.jp>

New Sustainable Growth  
**NSG**  
GROUP